

温暖化防止ながれやま だより

創刊号 平成 23 年 4 月発行

温暖化防止ながれやま 会報

代表 平手 彰

流山市こうのす台 629-46

編集 石垣 幸子

平成 23 年度 温暖化防止ながれやまの総会開催

3 月 11 日、三陸沖に大地震が襲った。そして東日本の太平洋沿岸を未曾有の大津波が襲いかかり、テレビに映し出された光景、たちまちに港が街が呑みこまれていく有様をなすすべもなく、見守るほかはなかった。その後この津波による福島原発の事故！クリーンで Co2 を排出しないエネルギーとして注目を集めていた原子力発電であった。その終息はまだ見えず、農業、漁業、畜産業にも大きな被害をもたらしている。この大災害の前で人間はなんと小さく弱いのだろうか。

しかし、その人間が引き起こした今世紀の環境破壊が、今、刻々と侵攻してきている。20 世紀、急速な産業活動の進展により、人間は豊かな生活を獲得した。その一方で地球温暖化を引き起こした。地球温暖化は人間の暮らしに大きな打撃を受けると見られている。干ばつ、洪水、熱波、そして氷河の後退、生態系への影響などが、すでに実際に現れている。温暖化への対策はあるのでしょうか。今、私たちは何をしなければならないのか。

温暖化防止ながれやまの総会は 4 月 5 日（火）オオタカの森にて開催された。

温暖化防止ながれやま総会議事録

1、決定事項

- ・会計は事務局に包含して 1 名とする
- ・会計監査は「監査」とし、会の運営と会計の監査を行う
- ・役員選出

代表（広報担当）	平手 彰
副代表（事務局長）	春田 育男
会計（広報部長）	石垣 幸子
監査	馬渡 俊隆 難波 幸男

・事業部責任者

環境講座	小山 俊
出前講座	馬渡 俊隆
補助金事業	平手 彰
省エネ市民会議	春田 育男

2、報告事項

- ・平成 22 年度収支報告
- ・平成 22 年度事業報告（別頁）

3、協議事項

- ・平成 23 年度事業計画

環境講座	5 回開催予定
出前講座	自治会、子供会、流山市からの要請により、いつでも、どこでも
補助金事業	緑のカーテンによる地球温暖化防止効果の調査 緑のカーテン実地サポート事業 小中学校のエネルギー調査
省エネ市民会議	毎月 1 回行う

4、その他

- ・今年度より「温暖化防止ながれやま」の会報を発行する

以上

平成 22 年度の活動報告

第 1 回 市民環境講座（5 月 22 日）

「緑のカーテンの作り方」

真夏の太陽光線を遮断し、緑の涼しい風を室内に取り込むため、窓辺にゴーヤを植えようという取り組み。ゴーヤはつる性で、病気にも強く、省エネ、地球温暖化防止にもつながる。ゴーヤの苗の配布もあり、市民の関心は強かった。

生涯学習センターにおいて 参加者 90 名



「地球誕生の謎を追った」 越冬女性記者の話

南極観測隊に女性記者として初めて同行された、朝日新聞社の中山由美記者を迎え、越冬体験から「地球を見つめて」の特別講演



中山 由美 記者

第 2 回 市民環境講座（6 月 12 日）

「新しいエコライフと明日のまちづくり」

南極観測隊に女性記者として、はじめて同行した朝日新聞社の中山由美さんが「地球を見つめて」と題して講演された。

また、江戸川大学の伊藤教授による「低炭素まちづくり」の講演をされた。江戸川大学サテライトセンターにおいて 参加者 55 名

～未来の子供たちにこの美しい地球を引き継いでいくために～

地球温暖化対策と聞くとなんやら難しい問題と思ってしまうか、未来の子供たちのために…と奮わなくても、「何から始めたらよいか分からない…」私ひとりでは…という方が多いのではないだろうか。この解決策は、今の私たちの生活スタイルを見直すことから始まります。流山市は美しいエコライフのまちを目指しています。



第3回 市民環境講座 (9月10日)

「ごみ処理施設バス見学ツアー」

私たちの生活の中で出るごみ。これはどのように処理されているのか。この日は市内の2カ所のごみ処理施設を見学した。

流山市クリーンセンターと森のまちエコセンター
参加者 23名

平成22年度の調査事業

1、グリーンカーテンによる

CO2削減量

測定日 平成22年8月5日

測定場所 美田団地

測定数 89軒(1144.4㎡)

光合成によるCO2固定量は667.6kg

2、ぐりーんバスによるCO2削減量

調査 平成22年7月~8月
(2ヶ月間)

路線 美田・駒木台ルート

美田団地におけるCO2削減効果は
1,292kg

3、エコドライブによるCO2削減量

測定 平成22年10月25日ほか

場所 流山自動車学校ほか

運転方法によって、117~185%の燃費

第4回 市民環境講座

「親子で楽しむ環境トーク！」

省エネ講演と映画の集い」

第1部

山川文子氏による「家庭でできる省エネの工夫」

第2部

映画「北極のナヌー」上映

北極で生まれた白クマの赤ちゃん。地球温暖化のせいで北極の氷は少なくなっている。そんな中で必死に生きていく白クマナヌーとセイウチシーラたちの姿を映している。地球温暖化とはなにかを考えさせられた。

流山市生涯学習センター

参加者 102名

差があった。

平成22年度 出前講座

1、6月7日 ゆたか自治会

ゆたか自治会館において

2、6月10日 駒木台自治会

駒木台自治会館において

3、9月4日 宿連合自治会・

根郷町会

赤城福祉会館において

4、10月19日 流山倫理法人会

流山商工会議所

5、1月29日 第一住宅初石団地

自治会

初石自治会館



平成 23 年度 第 1 回環境講座のお知らせ

流山グリーンフェスタ

緑のカーテン作り講習会

日 時 5月4日(みどりの日) 12:30~13:00 14:00~14:30
場 所 おおたかの森ショッピングセンター前広場
配 布 ゴーヤ苗 森のエコ堆肥

平成 23 年度 第 1 回出前講座実施報告

平成 23 年 4 月 10 日

夏に向けた節電対策

西平井自治会館において

東日本大震災は各地に大きな爪痕を残した。そして福島原子力発電の事故。国際的事故評価尺度がレベル7にまで引き上げられたという。いまだ終息は見えない。暖かくなってエアコンの使用量が減り、計画停電は回避されているが、この夏は節電に徹しなければならないだろうといわれている。この講座では「夏の省エネスタイルを考える」として、保冷剤の活用、昔ながらの知恵「打ち水」、そして今、注目されているグリーンカーテンの効用などを

紹介した。グリーンカーテンはつる性のゴーヤを窓辺に植えることによって、太陽の光をさえぎり、緑の中を通る涼しい風を室内に取り込もうという作戦である。

「家庭ですぐできる節電策」として、冷蔵庫、洗濯、トイレ、風呂、待機電力など、映像で確かめながら説明した。私たちは、私たちが引き起こした地球温暖化という環境破壊の改善のためにも、またこの夏の電力供給不足を補う意味からも節電に心がけていかなければならない。

編集後記

駅のコンコースが薄暗い。かつてふた昔、三昔までの駅はこんなものではなかったか。これは福島原発事故による節電対策である。私たちは豊かな生活を求めて、エネルギーを大量に消費してきた。そのエネルギー源として化石燃料を使用し、その結果として地球温暖化を引き起こしてしまった。そして原子力発電は CO2 を排出しないクリーンで安全なエネルギーとして宣伝され、日本各地に設置されてきた。その原発が牙をむいて私たちに襲いかかってきた。まだ終息は見えない。原発に頼らない CO2 削減にむけて、私たちにできること、今は省エネ、節電、小さなことかも知れないが...

石垣幸子